

平成15年3月期 中間決算短信 (連結)

平成14年11月21日

会社名 株式会社 シーマ
 コード番号 7638
 本社所在地 東京都中央区銀座2丁目6番3号
 問い合わせ先 責任者役職名 取締役財務経理部長
 氏名 小川好治

登録銘柄
 本社所在都道府県 東京都

TEL (03) 3567-8091

中間決算取締役会開催日 平成14年11月20日

親会社における当社の株式保有率 一%

親会社名 (コード番号 一)

米国会計基準採用の有無 無

1. 14年9月中間期の連結業績 (平成14年4月1日~平成14年9月30日)

(1) 連結経営成績 注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

	売上高		営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
14年9月中間期	2,301	(16.9)	363	(152.7)	356	(156.1)
13年9月中間期	1,968	(15.3)	143	(—)	139	(—)
14年3月期	4,225		461		445	

	中間(当期)純利益		1株当たり中間(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり中間(当期)純利益	
	百万円	%	円	銭	円	銭
14年9月中間期	238	(226.4)	30	90	—	—
13年9月中間期	73	(—)	9	46	—	—
14年3月期	203		26	38	—	—

- (注) 1. 持分法投資損益 14年9月中間期 一百万円 13年9月中間期 一百万円 14年3月期 一百万円
 2. 期中平均株式数(連結) 14年9月中間期 7,720,000株 13年9月中間期 7,720,000株 14年3月期 7,720,000株
 3. 会計処理の方法の変更 無
 4. 売上高、営業利益、経常利益、中間(当期)純利益におけるパーセント表示は、対前年中間期増減率

(2) 連結財政状態

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
14年9月中間期	3,068	1,875	61.1	242 92
13年9月中間期	2,933	1,550	52.8	200 83
14年3月期	2,896	1,680	58.0	217 64

(注) 期末発行済株式数(連結) 14年9月中間期 7,720,000株 13年9月中間期 7,720,000株 14年3月期 7,720,000株

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 中間期末(期末)残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
14年9月中間期	265	△29	△3	462
13年9月中間期	3	△8	△52	335
14年3月期	248	△121	△290	233

(4) 連結範囲及び持分法の適用に関する事項

連結子会社数 1社 持分法適用非連結子会社数 1社 持分法適用関連会社数 1社

(5) 連結範囲及び持分法の適用の異動状況

連結(新規) 1社 (除外) 1社 持分法(新規) 1社 (除外) 1社

2. 15年3月期の連結業績予想(平成14年4月1日~平成15年3月31日)

通 期	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
	4,600	500	260

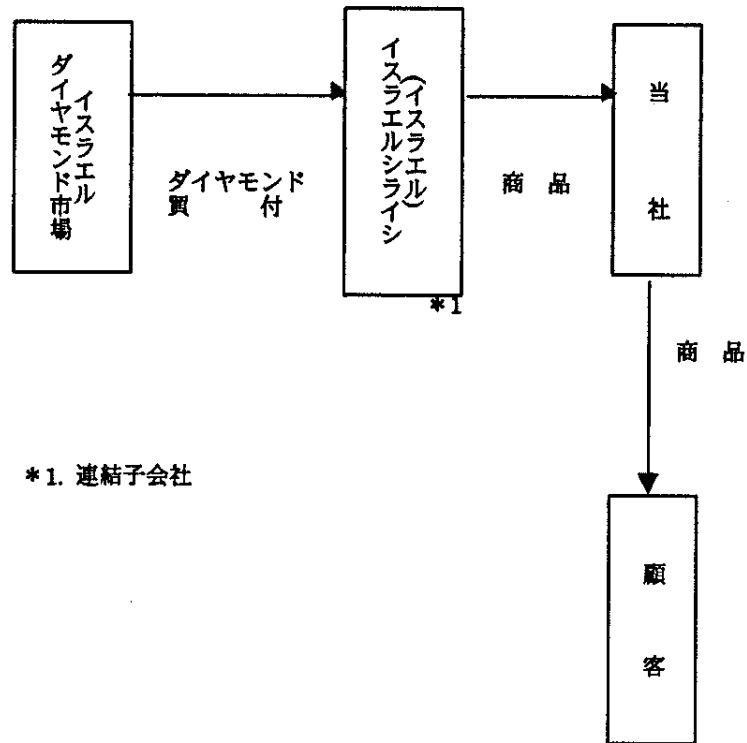
(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 33円 68銭

1. 企業集団等の概況

当社の企業集団は株式会社シーマ（当社）と子会社1社で構成され、「ブライダル事業」として店舗にて婚約指輪および結婚指輪などのブライダルジュエリーの販売を主な事業内容としております。ブライダルジュエリーの販売は、以下の2ブランドで展開しております。

- ・ダイヤモンドシライシ、エクセルコ

事業の系統図



(注) *1. 連結子会社

2. 経営方針

(1) 会社の経営の基本方針

当社グループは、「未来を拓く目と、輝く感性で新しい企業文化をクリエイトする」を企業理念として掲げております。

- ① 確かな商品と喜ばれるサービスを通じて、社会に貢献いたします。
- ② 高い美意識で分化を育み、社会に対して健やかな幸せを提案してまいります。
- ③ グローバルな視野で世界を捉え、悩める人があれば、喜んでそれを解消する活動を率先して行う企業として行動いたします。

人から人、心から心へクオリティーの高い本物の商品を通じて、ふれあいの輪を大きく広げてまいります。

(2) 中長期的な会社の経営戦略

第9期上半期を運営して、シーマは次の4つの将来性を感じております。

1つ目は、ブライダルジュエリー専門スペースの直営店出店を含めた増大です。中長期的には日本国内で30店舗、現状ではアジアを中心とした海外市場にもマーケティングをスタートしております。当社ブランド「日本最大級ダイヤモンド専門店：銀座ダイヤモンドシライシ」、「世界のトップカッター：エクセルコ」の2ブランドを国内での成功例を元に、アジア地区にも展開して行く計画です。2つ目は、店舗や百貨店といったアンテナを利用したファッションジュエリーへの展開です。今期下半期より東京エリアの映画館で「銀座ダイヤモンドシライシ」のファッションライン「AQUA」のCMを開始し「グランマガザン」「トレサンパ」等ファッション情報誌への露出もスタートいたします。中長期的には「AQUA」「ENERGY」「BIO」「TERA」の4ラインを展開してまいります。

3つ目は、上半期の間デモンストレーションとして「銀座ダイヤモンドシライシ」の銀座本店で行ったウエディングギフトの販売です。そのデータをもとに中国・ヨーロッパでのオリジナルギフト開発を開始しており、計画上では今下半期から来期第10期初頭には全国のホテル・式場に卸販売を開始する運びとなっております。

4つ目は、「ダイヤモンドシライシウエディング」での商品販売です。ジュエリーの購入時点で未だ式場等を決定されていない顧客がレストランウエディングを希望される場合に「ダイヤモンドシライシウエディング」として、オリジナリティ溢れる結婚式を「ロマンティック」にプロデュースいたします。当社の顧客に対する新たな商品として販売してまいります。デモンストレーション販売を「銀座ダイヤモンドシライシ」の銀座本店で行った結果、既に数件の成約を受注しております。

以上4つの事業展開を現在進行させており、ブライダルジュエリー販売中心の経営からより幅のあるサービスのできる経営へ移行し顧客の多様なニーズに適切に対応できる企業として、今後も充実を図りたいと考えております。

(3) 会社の対処すべき課題

このような情勢のもと、当社グループは長期的なイメージ戦略からタイムリーなスクラップアンドビルドの実施や、お客様のニーズに合わせた品揃え・魅力ある店づくりなど、21世紀に向けての経営基盤の強化を行ってまいります。

3. 経営成績

1. 当中間期の概況

(1) 当中間期の業績の概況

当中間期における売上高は、23億1百万円と前期中間期比3億32百万円増(16.9%増)となりました。利益においては、経常利益が3億56百万円と前期中間期比2億17百万円増(156.1%増)となり、当中間期純利益も2億38百万円と前期中間期比1億65百万円増(226.4%増)となり前期中間期と比較して大幅に伸長することができました。

当中間期においても前期に引き続いてエクセルコブランドの売上が順調に伸長すると同時に、前期末にオープンした東武宇都宮百貨店内の宇都宮店をはじめとした新店舗の売上が順調に推移しております。また銀座本店で実施中の新規事業も少しずつではありますが、成果を出しつつあります。経費面においても広告宣伝費、販売促進費の集中化が図られると同時に本社集約化により各部門の効率的な運用を実施することができました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物は、売上高増加による営業収入の増加に対し、原材料又は商品の仕入支出、投資活動及び財務活動支出が少なかったことから、前連結会計年度末に比べ229百万円増、当中間連結会計期間末には462百万円となりました。

また、当中間連結会計期間中における各キャッシュ・フローは次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間において営業活動による資金の増加は、265百万円であります。

これは主に売上高の増加分を、仕入支出増・新規出店経費支出・法人税等の支出等に吸収されたことが要因であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間において投資活動による資金の減少は、29百万円となりました。

これは主に、千葉店の新規出店による支出総額20百万円の投資を実施していることによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間において財務活動による資金の減少は、3百万円となりました。

これは主に、短期借入金の純増による収入135百万円、長期借入金の約定返済による支出99百万円、配当金の支払額38百万円等によるものであります。

2. 見通し

今後の見通しにつきまして、通期では、新規出店店舗が収益面において寄与することから、連結売上高46億円、連結経常利益5.0億円、連結当期純利益2.6億円を見込んでおります。

4. 中間連結財務諸表等

中間連結貸借対照表

(単位:千円)

期別 科目	当中間連結会計期間末 平成14年9月30日現在		前中間連結会計期間末 平成13年9月30日現在		前連結会計年度 要約連結貸借対照表 平成14年3月31日現在	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
		%		%		%
(資産の部)						
I 流動資産						
1.現金及び預金	462,759		335,391		233,010	
2.売掛金	162,448		162,984		174,111	
3.たな卸資産	1,518,123		1,501,368		1,552,824	
4.繰延税金資産	14,375		8,946		19,026	
5.買建通貨オプション	—		7,944		—	
6.繰延ヘッジ損失	—		4,736		—	
7.その他	33,487		27,281		34,938	
8.貸倒引当金	△ 243		△ 488		△ 522	
流動資産合計	2,190,950	71.4	2,048,164	69.8	2,013,388	69.5
II 固定資産						
1.有形固定資産						
(1)建物附属設備	157,108		166,269		150,568	
(2)車両運搬具	871		1,280		1,037	
(3)工具器具備品	157,794		161,446		155,793	
有形固定資産合計	315,774	10.3	328,996	11.2	307,398	10.6
2.無形固定資産						
(1)ソフトウェア	48,479		60,437		53,085	
(2)電話加入権	4,460		4,460		4,460	
無形固定資産合計	52,939	1.7	64,898	2.2	57,546	2.0
3.投資その他の資産						
(1)敷金保証金	491,787		477,677		502,648	
(2)長期前払費用	14,139		14,164		13,391	
(3)破産債権更正債権	10,718		—		10,718	
その他これらに準ずる債権						
(4)繰延税金資産	2,254		—		2,254	
(5)出資金	500		—		—	
(6)貸倒引当金	△ 10,718		—		△ 10,718	
投資その他の資産合計	508,681	16.6	491,841	16.8	518,294	17.9
固定資産合計	877,395	28.6	885,735	30.2	883,239	30.5
資産合計	3,068,346	100.0	2,933,900	100.0	2,896,627	100.0

中間連結貸借対照表

(単位:千円)

期別 科目	当中間連結会計期間末		前中間連結会計期間末		前連結会計年度 要約連結貸借対照表	
	平成14年9月30日現在		平成13年9月30日現在		平成14年3月31日現在	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
(負債の部)		%		%		%
I 流動負債						
1.買掛金	45,580		72,555		89,433	
2.短期借入金	695,000		698,000		560,000	
3.1年以内返済予定長期借入金	85,400		199,200		185,000	
4.未払法人税等	114,275		59,211		166,017	
5.売建通貨オプション	—		1,422		—	
6.繰延ヘッジ利益	—		11,258		—	
7.その他の	252,753		256,466		215,999	
流動資産合計	1,193,009	38.9	1,298,114	44.2	1,216,451	42.0
II 固定負債						
長期借入金	—		85,400		—	
固定負債合計	—	—	85,400	2.9	—	—
負債合計	1,193,009	38.9	1,383,514	47.2	1,216,451	42.0
(資本の部)						
I 資本金	515,100	16.8	515,100	17.6	515,100	17.8
II 資本剰余金	274,000	8.9	274,000	9.3	274,000	9.4
III 利益剰余金	1,085,561	35.4	761,029	25.9	891,650	30.8
IV 為替換算調整勘定	675	0.0	256	0.0	△ 574	△ 0.0
資本合計	1,875,336	61.1	1,550,385	52.8	1,680,175	58.0
負債及び資本合計	3,068,346	100.0	2,933,900	100.0	2,896,627	100.0

中間連結損益計算書

(単位：千円)

科目	当中間連結会計期間		前中間連結会計期間		前連結会計年度	
	自平成14年4月1日 至平成14年9月30日		自平成13年4月1日 至平成13年9月30日		要約連結損益計算書 自平成13年4月1日 至平成14年3月31日	
	金額	百分比	金額	百分比	金額	百分比
I 売上高	2,301,137	100.0	1,968,206	100.0	4,225,127	100.0
II 売上原価	836,104	36.3	850,737	43.2	1,757,779	41.6
売上総利益	1,465,032	63.7	1,117,468	56.8	2,467,347	58.4
III 販売費及び一般管理費	1,101,888	47.9	973,804	49.5	2,005,394	47.5
営業利益	363,144	15.8	143,663	7.3	461,953	10.9
IV 営業外収益						
1. 受取利息	18		43		228	
2. 保険金収入	—		—		683	
3. その他	70		1,853		1,836	
営業外収益合計	89	0.0	1,897	0.1	2,749	0.1
V 営業外費用						
1. 支払利息	4,233		5,985		11,897	
2. 為替差損	2,683		—		6,816	
3. その他	—		481		11	
営業外費用合計	6,917	0.3	6,467	0.3	18,726	0.4
経常利益	356,317	15.5	139,093	7.1	445,976	10.6
VI 特別利益						
貸倒引当金戻入益	278	0.0	—	—	—	—
VII 特別損失						
1. 固定資産除却損	—		—		45,667	
2. 店舗閉鎖損失	—		9,500		—	
3. 貸倒引当金繰入額	—		—		10,718	
特別損失合計	—	0.0	9,500	0.5	56,386	1.3
税金等調整前中間(当期)純利益	356,595	15.5	129,593	6.6	389,589	9.2
法人税、住民税及び事業税	113,433	4.9	57,770	2.9	199,478	4.7
法人税等調整額	4,651	0.2	△ 1,235	△ 0.0	△ 13,568	△ 0.3
中間(当期)純利益	238,510	10.4	73,058	3.7	203,679	4.8

中間連結剰余金計算書

(単位：千円)

科目	当中間連結会計期間	前中間連結会計期間	前連結会計年度
	自平成14年4月1日 至平成14年9月30日	自平成13年4月1日 至平成13年9月30日	要約連結剰余金計算書 自平成13年4月1日 至平成14年3月31日
	金額	金額	金額
(資本剰余金の部)			
I 資本剰余金期首残高	274,000	274,000	274,000
II 資本剰余金中間期末(期末)残高	274,000	274,000	274,000
(利益剰余金の部)			
I 利益剰余金期首残高			
連結剰余金期首残高	891,650	803,771	803,771
II 利益剰余金増加高			
中間(当期)純利益	238,510	73,058	203,679
III 利益剰余金減少高			
1. 配当金	38,600	115,800	115,800
2. 役員賞与	6,000	—	—
IV 利益剰余金中間期末(期末)残高	1,085,561	761,029	891,650

中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科目	期別	当中間連結会計期間	前中間連結会計期間	前連結会計年度
		自平成14年4月1日 至平成14年9月30日	自平成13年4月1日 至平成13年9月30日	要約連結キャッシュ・フロー計算書 自平成13年4月1日 至平成14年3月31日
		金額	金額	金額
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー				
営業収入		2,312,800	1,994,195	4,167,624
商品の仕入支出	△	845,257	1,009,039	1,982,126
人件費支出	△	330,691	286,427	593,306
その他の営業支出	△	702,049	612,832	1,230,459
小計		434,803	85,896	361,733
利息の受取額		15	43	222
利息の支払額	△	4,240	5,777	11,975
為替差損		—	470	—
その他収入		53	1,229	—
その他支出		—	10,892	—
法人税等の支払額	△	165,175	66,850	101,773
営業活動によるキャッシュ・フロー		265,456	3,178	248,207
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー				
有形固定資産の取得による支出	△	34,571	65,305	122,564
無形固定資産の取得による支出	△	3,066	—	29,800
敷金保証金等の取得による支出	△	8,520	23,587	49,084
敷金保証金等の解約による収入		16,881	80,275	80,275
投資活動によるキャッシュ・フロー	△	29,276	8,618	121,173
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー				
短期借入による収入		695,000	370,000	570,000
短期借入金の返済による支出	△	560,000	208,045	546,000
長期借入金の返済による支出	△	99,600	99,600	199,200
配当金の支払額	△	38,560	115,132	115,288
財務活動によるキャッシュ・フロー	△	3,160	52,777	290,488
IV. 現金及び現金同等物に係る換算差額	△	3,271	1,554	4,413
V. 現金及び現金同等物の増加額又は減少額		229,749	56,662	159,043
VI. 現金及び現金同等物の期首残高		233,010	392,053	392,053
VII. 現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高		462,759	335,391	233,010

中間連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項

1. 連結の範囲に関する事項

在外連結子会社 Israel Shiraishi, Ltd.
当社の子会社は、上記 Israel Shiraishi, Ltd. 1社であります。

2. 持分法の範囲に関する事項

非連結子会社及び関連会社がないため、該当事項はありません。

3. 連結子会社の中間決算日等に関する事項

会社名 中間決算日
Israel Shiraishi, Ltd. 6月30日

中間連結財務諸表の作成にあたっては、連結子会社の中間決算日現在の中間財務諸表を使用しております。なお、中間連結決算日との間に生じた重要な取引については、連結上必要な調整を行っております。

4. 会計処理基準に関する事項

(1) 重要な資産の評価基準及び評価方法

たな卸資産の評価基準及び評価方法
商品

ダイヤモンドルース(裸石)・マリッジリング・メレ石
枠・地金・その他商品

貯蔵品

個別法による原価法
総平均法による原価法
最終仕入原価法

(2) 重要な減価償却資産の減価償却の方法

① 有形固定資産

定率法によっております。なお、耐用年数及び残存価額については、法人税法に規定する方法と同一の基準によっております。在外連結子会社は所在地国の会計基準に基づく定額法によっております。

② 無形固定資産

定額法によっております。

なお、ソフトウェア(自社利用分)については、社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法を採用しております。

③ 長期前払費用

均等償却によっております。

(3) 中間連結財務諸表の作成の基礎となった連結会社の中間財務諸表の作成に当たって採用した重要な外貨建の資産又は負債の本邦通貨への換算基準

外貨建金銭債権業務は、中間連結決算日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。なお、在外子会社等の資産及び負債は、中間連結決算日の直物為替相場により円貨に換算し、収益及び費用は期中平均相場により円貨に換算し、換算差額は資本の部における為替換算勘定に含めております。

(4) 重要な引当金の計上基準

貸倒引当金

一般債権については、貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

(5) 重要なリース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引による方法に準じた会計処理によっております。

(6) その他中間連結財務諸表作成のための重要な事項

消費税等の会計処理方法

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

5. 中間連結キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲

手許現金、要求払預金及び取得日から3ヶ月以内に満期日の到来する流動性の高い、容易に換金可能であり、かつ、価値の変動について僅少なりスクしか負わない短期的な投資であります。

追加情報

(自己株式及び法定準備金取崩等会計)

当中間連結会計期間から、「自己株式及び法定準備金の取崩等に関する会計基準」(企業会計基準第1号)を適用しております。これによる当中間会計期間の損益に与える影響はありません。

なお、中間連結財務諸表等規則の改正により、当中間連結会計期間における中間連結貸借対照表の資本の部及び中間連結剰余金計算書については、改正後の中間連結財務諸表等規則により作成しております。なお、前中間連結会計期間末及び前連結会計年度について改正後の表示区分に組替えております。

注記事項

(中間連結貸借対照表関係)

当中間連結会計期間末 平成14年9月30日現在	前中間連結会計期間末 平成13年9月30日現在	前連結会計年度末 平成14年3月31日現在
有形固定資産の減価償却累計額 237,513千円	有形固定資産の減価償却累計額 220,412千円	有形固定資産の減価償却累計額 211,864千円

(中間連結損益計算書関係)

当中間連結会計期間 自平成14年4月1日 至平成14年9月30日	前中間連結会計期間 自平成13年4月1日 至平成13年9月30日	前連結会計年度 自平成13年4月1日 至平成14年3月31日
販売費及び一般管理費の主要な費目と金額は次のとおりであります。	販売費及び一般管理費の主要な費目と金額は次のとおりであります。	販売費及び一般管理費の主要な費目と金額は次のとおりであります。
広告宣伝費 354,238千円 給与手当 256,284 地代家賃 165,372 減価償却費 26,023	広告宣伝費 300,538千円 給与手当 237,292 地代家賃 133,916 減価償却費 27,131	広告宣伝費 623,953千円 給与手当 482,257 地代家賃 276,866 減価償却費 57,488
—	—	固定資産除却損の内訳は、次のとおりであります。 建物附属設備 30,866千円 工具器具備品 5,301 ソフトウェア 9,500 計 45,667千円

(中間連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当中間連結会計期間 自平成14年4月1日 至平成14年9月30日	前中間連結会計期間 自平成13年4月1日 至平成13年9月30日	前連結会計年度 自平成13年4月1日 至平成14年3月31日
現金及び現金同等物の中間期末残高と中間連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成14年9月30日現在)	現金及び現金同等物の中間期末残高と中間連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成13年9月30日現在)	現金及び現金同等物の期末残高と連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成14年3月31日現在)
現金及び預金勘定 462,759千円 現金及び現金同等物 462,759千円	現金及び預金勘定 335,391千円 現金及び現金同等物 335,391千円	現金及び預金勘定 233,010千円 現金及び現金同等物 233,010千円

(リース取引関係)

当中間連結会計期間 自平成14年4月1日 至平成14年9月30日	前中間連結会計期間 自平成13年4月1日 至平成13年9月30日	前連結会計年度 自平成13年4月1日 至平成14年3月31日																																				
リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引(借主側) ①リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額及び中間期末残高相当額	リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引(借主側) ①リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額及び中間期末残高相当額	リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引(借主側) ①リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額及び期末残高相当額																																				
<table border="0"> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">工具器具備品</td> <td style="text-align: center;">合計</td> </tr> <tr> <td>取得価額相当額</td> <td style="text-align: right;">16,652千円</td> <td style="text-align: right;">16,652千円</td> </tr> <tr> <td>減価償却累計額相当額</td> <td style="text-align: right;">12,767千円</td> <td style="text-align: right;">12,767千円</td> </tr> <tr> <td>中間期末残高相当額</td> <td style="text-align: right;">3,885千円</td> <td style="text-align: right;">3,885千円</td> </tr> </table>		工具器具備品	合計	取得価額相当額	16,652千円	16,652千円	減価償却累計額相当額	12,767千円	12,767千円	中間期末残高相当額	3,885千円	3,885千円	<table border="0"> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">工具器具備品</td> <td style="text-align: center;">合計</td> </tr> <tr> <td>取得価額相当額</td> <td style="text-align: right;">16,652千円</td> <td style="text-align: right;">16,652千円</td> </tr> <tr> <td>減価償却累計額相当額</td> <td style="text-align: right;">9,436千円</td> <td style="text-align: right;">9,436千円</td> </tr> <tr> <td>中間期末残高相当額</td> <td style="text-align: right;">7,216千円</td> <td style="text-align: right;">7,216千円</td> </tr> </table>		工具器具備品	合計	取得価額相当額	16,652千円	16,652千円	減価償却累計額相当額	9,436千円	9,436千円	中間期末残高相当額	7,216千円	7,216千円	<table border="0"> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">工具器具備品</td> <td style="text-align: center;">合計</td> </tr> <tr> <td>取得価額相当額</td> <td style="text-align: right;">16,652</td> <td style="text-align: right;">16,652千円</td> </tr> <tr> <td>減価償却累計額相当額</td> <td style="text-align: right;">11,101</td> <td style="text-align: right;">11,101千円</td> </tr> <tr> <td>期末残高相当額</td> <td style="text-align: right;">5,550</td> <td style="text-align: right;">5,550千円</td> </tr> </table>		工具器具備品	合計	取得価額相当額	16,652	16,652千円	減価償却累計額相当額	11,101	11,101千円	期末残高相当額	5,550	5,550千円
	工具器具備品	合計																																				
取得価額相当額	16,652千円	16,652千円																																				
減価償却累計額相当額	12,767千円	12,767千円																																				
中間期末残高相当額	3,885千円	3,885千円																																				
	工具器具備品	合計																																				
取得価額相当額	16,652千円	16,652千円																																				
減価償却累計額相当額	9,436千円	9,436千円																																				
中間期末残高相当額	7,216千円	7,216千円																																				
	工具器具備品	合計																																				
取得価額相当額	16,652	16,652千円																																				
減価償却累計額相当額	11,101	11,101千円																																				
期末残高相当額	5,550	5,550千円																																				
②未経過リース料中間期末残高相当額	②未経過リース料中間期末残高相当額	②未経過リース料期末残高相当額																																				
<table border="0"> <tr> <td>1年以内</td> <td style="text-align: right;">3,518千円</td> </tr> <tr> <td>1年超</td> <td style="text-align: right;">586千円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: right;">4,104千円</td> </tr> </table>	1年以内	3,518千円	1年超	586千円	合計	4,104千円	<table border="0"> <tr> <td>1年以内</td> <td style="text-align: right;">3,518千円</td> </tr> <tr> <td>1年超</td> <td style="text-align: right;">4,104千円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: right;">7,623千円</td> </tr> </table>	1年以内	3,518千円	1年超	4,104千円	合計	7,623千円	<table border="0"> <tr> <td>1年以内</td> <td style="text-align: right;">3,518千円</td> </tr> <tr> <td>1年超</td> <td style="text-align: right;">2,345千円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: right;">5,864千円</td> </tr> </table>	1年以内	3,518千円	1年超	2,345千円	合計	5,864千円																		
1年以内	3,518千円																																					
1年超	586千円																																					
合計	4,104千円																																					
1年以内	3,518千円																																					
1年超	4,104千円																																					
合計	7,623千円																																					
1年以内	3,518千円																																					
1年超	2,345千円																																					
合計	5,864千円																																					
③未経過リース料、減価償却費相当額及び支払利息相当額	③未経過リース料、減価償却費相当額及び支払利息相当額	③当期の支払リース料、減価償却費相当額及び支払利息相当額																																				
<table border="0"> <tr> <td>支払リース料</td> <td style="text-align: right;">1,759千円</td> </tr> <tr> <td>減価償却費相当額</td> <td style="text-align: right;">1,665千円</td> </tr> <tr> <td>支払利息相当額</td> <td style="text-align: right;">55千円</td> </tr> </table>	支払リース料	1,759千円	減価償却費相当額	1,665千円	支払利息相当額	55千円	<table border="0"> <tr> <td>支払リース料</td> <td style="text-align: right;">1,759千円</td> </tr> <tr> <td>減価償却費相当額</td> <td style="text-align: right;">1,665千円</td> </tr> <tr> <td>支払利息相当額</td> <td style="text-align: right;">92千円</td> </tr> </table>	支払リース料	1,759千円	減価償却費相当額	1,665千円	支払利息相当額	92千円	<table border="0"> <tr> <td>支払リース料</td> <td style="text-align: right;">3,518千円</td> </tr> <tr> <td>減価償却費相当額</td> <td style="text-align: right;">3,330千円</td> </tr> <tr> <td>支払利息相当額</td> <td style="text-align: right;">166千円</td> </tr> </table>	支払リース料	3,518千円	減価償却費相当額	3,330千円	支払利息相当額	166千円																		
支払リース料	1,759千円																																					
減価償却費相当額	1,665千円																																					
支払利息相当額	55千円																																					
支払リース料	1,759千円																																					
減価償却費相当額	1,665千円																																					
支払利息相当額	92千円																																					
支払リース料	3,518千円																																					
減価償却費相当額	3,330千円																																					
支払利息相当額	166千円																																					
④減価償却費相当額の算定方法及び利息相当額の算定方法	④減価償却費相当額の算定方法及び利息相当額の算定方法	④減価償却費相当額及び利息相当額の算定方法																																				
減価償却費相当額の算定方法 ・リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっております。	減価償却費相当額の算定方法 同左	減価償却費相当額の算定方法 同左																																				
利息相当額の算定方法 ・リース料総額とリース物件の取得価額相当額の差額を利息相当額とし、各期への配分方法については利息法によっております。	利息相当額の算定方法 同左	利息相当額の算定方法 同左																																				

(有価証券関係)

当中間連結会計年度(自平成14年4月1日至平成14年9月30日) 該当事項はありません。
 前中間連結会計年度(自平成13年4月1日至平成13年9月30日) 該当事項はありません。
 前連結会計年度(自平成13年4月1日至平成14年3月31日) 該当事項はありません。

(デリバティブ取引関係)

当中間連結会計年度(自平成14年4月1日至平成14年9月30日)
 デリバティブ取引を一切行っておりませんので、該当事項はありません。
 前中間連結会計年度(自平成13年4月1日至平成13年9月30日)
 デリバティブ取引の契約額等、時価及び評価損益
 ヘッジ会計が適用されているものについては、記載対象から除いております。
 前連結会計年度(自平成13年4月1日至平成14年3月31日)
 デリバティブ取引を一切行っておりませんので、該当事項はありません。

(セグメント情報)

1. 事業の種類別セグメント情報

当中間連結会計期間(自平成14年4月1日至平成14年9月30日)及び前中間連結会計期間(自平成13年4月1日至平成13年9月30日)並びに前連結会計年度(自平成13年4月1日至平成13年3月31日)

プライダル事業の売上高及び営業利益金額は、全セグメントの売上高の合計、営業利益の合計額に占める割合がいずれも90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

2. 所在地別セグメント情報

当中間連結会計期間(自平成14年4月1日至平成14年9月30日)前中間連結会計年(自平成13年4月1日至平成13年9月30日)並びに前連結会計年度(自平成13年4月1日至平成13年3月31日)

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合がいずれも90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

3. 海外売上高

当中間連結会計期間(自平成14年4月1日至平成14年9月30日)前中間連結会計年(自平成13年4月1日至平成13年9月30日)並びに前連結会計年度(自平成13年4月1日至平成13年3月31日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

当中間連結会計年度 自平成14年4月1日 至平成14年9月30日	前中間連結会計年度 自平成13年4月1日 至平成13年9月30日	前連結会計年度 自平成13年4月1日 至平成14年3月31日
1株当たり純資産額 242円 92銭 1株当たり中間純利益 30円 90銭	1株当たり純資産額 200円 83銭 1株当たり中間純利益 9円 46銭	1株当たり純資産額 217円 64銭 1株当たり当期純利益 26円 38銭

(注)潜在株式調整後1株当たり中間(当期)純利益の金額については、転換社債等の発行がないため記載していません。

(重要な後発事象)

当中間連結会計年度 自平成14年4月1日 至平成14年9月30日	前中間連結会計年度 自平成13年4月1日 至平成13年9月30日	前連結会計年度 自平成13年4月1日 至平成14年3月31日
—	当社の取引先である株式会社松菱(静岡県浜松市の老舗百貨店)は、平成13年11月14日静岡地裁浜松支部へ自己破産を申請し、同日破産宣告を受けました。当社の松菱に対する売上債権は、2,105千円であります。現在、破産手続が進行中のため、弁済額は未確定であります。上記債権額については、その大部分が回収できない事象が発生する可能性があります。なお、法の判断が明確になった時点で対応する予定であります。	—

5. 販売の状況

ブランド別売上高

(単位：千円)

	当中間連結会計期間 自平成14年4月1日 至平成14年9月30日		前中間連結会計期間 自平成13年4月1日 至平成13年9月30日		前連結会計年度 自平成13年4月1日 至平成14年3月31日	
	売上高	比率	売上高	比率	売上高	比率
ダイヤモンドシライシ	1,618,314	70.3%	1,499,135	76.2%	3,026,150	71.6%
エクセルコ	651,128	28.3%	440,672	22.4%	1,091,542	25.8%
その他	31,695	1.4%	28,398	1.4%	107,434	2.6%
合計	2,301,137	100.0%	1,968,206	100.0%	4,225,127	100.0%